

子ども・若者施策各課目標指標（平成29年度）

資料2-④

大項目	指標	目標	実績 (達成率)	施策担当課	備考	平成29年度実績に対する担当課意見	
視点1 子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり							
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	1 (仮称) 彦根市子ども・若者支援センターの設置	1か所	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートに記載	
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	2 (仮称) 彦根市子ども・若者支援ネットワークの整備	整備	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートに記載	
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	3 地域福祉活動・自主活動	10,000件	11998件	社会福祉課	民生委員活動実績	今後も民生委員活動を支援していく。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	4 こにちは赤ちゃん訪問	1,000件	847件	健康推進課	民生委員訪問件数	対象件数が928件のため、約91.3%達成している。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	5 民児協運営と研修	9,000回	—	社会福祉課	民生委員活動実績	子ども・若者に関与した件数の把握ができない。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	6 子どもに関する相談支援件数	5,000件	4141件	社会福祉課	民生委員活動実績	今後も民生委員活動を支援していく。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	7 調査・実態把握件数	20,000件	—	社会福祉課	民生委員活動実績	子ども・若者に関与した件数の把握ができない。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	8 乳児家庭全戸訪問率	100%	91.3%	健康推進課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートに記載
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	9 年間自殺者数	20人	11人	障害福祉課	過去6年間自殺者数の平均より少ない人数	関係機関と連携して支援していく
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	10 関係機関・団体の実施事業の提言反映状況	840事業	—	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートに記載
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	11 青少年団体会員数	500人	352人	生涯学習課	支援している青少年団体の会員数合計	各団体の活動は継続しているが、会員数は減少している。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	12 青年リーダー養成事業参加者数	20人	54人	生涯学習課	青年リーダー養成事業参加延人数	270%達成できている。参加している学生の所属大学の数も増加している。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	13 市民体育大会参加率	10%	7.8%	保健体育課	参加者数/彦根市総人口	より多くの市民が参加できるよう、引き続き彦根市スポーツ協会との情報発信を積極的に行う。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	14 スポーツ少年団加盟率	18%	10.9%	保健体育課	加盟者数/総児童数	スポーツを通じて青少年の心身に健全育成のため、スポーツ少年団活動の情報発信に努める。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	15 市民活動促進助成交付申請率（新指標）	20件	13件	まちづくり推進室	市民活動促進助成金交付申請団体数	多様な主体による市民活動の活性化を図っていく必要がある。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	16 男女共同参画 出前講座開催数	30回	18回	人権政策課	年間開催数	ヒューマンアクターとの連携や積極的なPRにより、少しずつ出前講座の依頼が増えてきている。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	17 男女共同参画センター 講座受講者数	2,500人	2,146人	人権政策課		新たな講座受講者が増えるよう、講座内容や情報発信の工夫が必要である。
1	子ども・若者を応援する体制の整備・充実	18 男女共同参画センター 登録団体数	40団体	25団体	人権政策課		活動する団体の高齢化により登録数が減った。新たに継続して活動する団体が少ない。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	19 青年リーダー養成事業参加者数	20人	54人	生涯学習課	青年リーダー養成事業参加延人数	270%達成できている。参加している学生の所属大学の数も増加している。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	20 地域子ども教室参加者数	4,000人	6,576人	生涯学習課	参加延人数（10か所）	目標に対して、164%達成できている。地域で子どもを育む基盤が、組織として確立されている。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	21 たんぼのこ事業実施校数	70%	58.8%	学校教育課	実施校/市内小学校	水田以外にバケツ栽培等による取組も推進している。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	22 食育に関心を持っている市民の割合	90%以上	—	健康推進課	ひこね元気計画21・食育推進計画の評価に関するアンケート結果	関係機関と協力して、食育フェア（VivaCityひこね）、日曜市（彦根総合卸売市場）にて、食育啓発活動を実施した。健康推進員と一緒に、地域の子育て教室や生活習慣病教室で啓発を行った。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	23 農業体験活動実施生産組織数	1団体	1団体	農林水産課	松原農業組合	目標は達成
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	24 農業体験活動実施小中学校数	2校	2校	農林水産課	城北小、西中学	目標は達成
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	25 梅干しづくり参加組数	20組	17組	農林水産課	2工程（計2日）で1講座	目標は未達であり、引き続き周知等を行っていく。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	26 みそ加工参加組数	40組	32組	農林水産課	2回開催。各回定員20組	目標は未達であり、引き続き周知等を行っていく。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	27 狂言教室参加実人数	12人	8人	彦根城博物館	キッズサマースクール	引き続き、子供向け伝統文化への体験型学習事業の機会を提供するとともに、参加者の拡大を図るため、開催時期（お盆の期間をはずす、開催期間の短縮等）への配慮や広報の充実に努める。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	28 博物館体験参加実人数	60人	69人	彦根城博物館	キッズサマースクール	他館の事例を参考にするなどメニューの工夫やキッズサマースクールの実施形態等を見直しながら人員の確保に努める。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	29 スポーツ大会参加延人数	800人	680人	保健体育課	グラウトゴルフ・スーパー・加ム・ファミリ大会参加者数	全ての学区が参加されるよう、各学区体育振興会と連携を図る。

大項目		指標	目標	実績 (ppr)	施策担当課	備考	平成29年度実績に対する担当課意見	
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	30	元気フェスタ参加者数	2,500人	3,456人	保健体育課		さらに多くの市民が参加できるよう、各種イベントの情報発信を積極的に行う。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	31	学区スポーツ大会参加者数	800人	808人	保健体育課		参加者が固定してきている学区もあり、若い世代の参加者を増やす工夫が必要。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	32	子ども向け6教室の定員充足率	100%	91.0%	市民体育センター	定員充足率(年間2回)	6教室中、親子キラにこフィットネス教室は100%、チビッコ体操教室(年中)・ジュニアスポーツ教室は90%以上だった。チビッコ体操教室は、幼稚園・保育園等の保育時間や参加していただきやすい時間帯を考え、それぞれ2コースを設定しているが、平成29年度においては5歳児対象教室の充足率が78%と少し悪い結果となった。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	33	子ども文芸作品応募数	9,000点	5,708点	文化振興室	短歌、俳句、川柳、詩の応募数	子どもたちに日本語の美しさと豊かな表現力を再認識してもらうため、各学校の協力のもと事業を実施し、さらに応募数を増やしていく必要がある。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	34	ひこにゃん子ども文化芸術大賞受賞者数	50人	130人	文化振興室	大賞受賞者数(小学生+中学生)	子どもたちが、より文化芸術に関心を持ち、取り組んでもらうような事業をおこなった結果、目標を上回る受賞者があった。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	35	市民一人当たりの図書貸出冊数	5.4冊	5.1冊	図書館	貸出冊数/人口	資料の充実と職員の専門性の向上に努める必要がある。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	36	動く図書館(たちばな号)の貸出冊数	25,000冊	25,232冊	図書館		利用してもらいやすい環境整備を検討することや、さらなるPPRが必要である。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	37	図書館 入館者数	210,000人	189,826人	図書館		おはなし会やテーマ展示などの充実を図り、来館者の増加につなげていく必要がある。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	38	夏休み子どもひろば参加率	100%	88.3%	東山児童館	参加者数/定員	参加者の満足につながる講座内容を見直す必要がある。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	39	指定管理者による公園管理	2公園	2公園	都市計画課	金亀公園、荒神山公園	様々な自主事業を開催し、多くの市民の方に利用していただいた。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	40	市内公園の安全点検	672公園	672公園	都市計画課	市内公園336公園(前期)+市内公園336公園(後期)=市内公園672公園(合計)	老朽化による危険度の高い遊具等については、可能な範囲で修繕を実施した。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	41	書き方教室出席率	100%		市民交流センター	出席率	H28年度から市民交流センターとなり事業廃止
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	42	小学校自主活動学級参加率	100%		市民交流センター	参加者数/定員	H28年度から市民交流センターとなり事業廃止
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	43	上学年英語・パソコン教室の延参加者数	427人	439人	人権・福祉交流会館	前年度延参加者数	
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	44	中学生英数教室の参加者数	1,098人	660人	人権・福祉交流会館	前年度延参加者数	入室児童の欠席等が多かったため
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	45	のびっこ教室の参加者数	80人	150人	人権・福祉交流会館	前年度延参加者数	
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	46	学童保育町内児童の参加率	55%	30%	人権・福祉交流会館	町内児童参加数/全参加児童数	河瀬小学校の1~3年の児童を対象にしているため、母数が増え実績値が減少するもの。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	47	高校生等交流事業参加者数	73人	45人	人権・福祉交流会館	前年度延参加者数	部活動等が重なったことにより高校生の参加が見込めなかったため
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	48	地域子ども教室参加者数	3,500人	5,390人	生涯学習課	地域子ども教室参加延人数(公民館での実施8か所)	目標に対して、154%達成できている。開催される教室に対して、継続的に参加する児童も多い。
2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	49	自発的参加校率	100%	-	生涯学習課	自発的参加校数/市内10中学校・中等部	平成29年度は中学生広場事業は廃止となったため、実績なし。
<b>視点2 子ども・若者の育ちに応じた支援</b>								
1	地域における子育て支援の充実	50	地域子育て支援センターの整備	3か所	3か所	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
1	地域における子育て支援の充実	51	利用者支援事業実施箇所数	1か所	2か所	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
1	地域における子育て支援の充実	52	子ども向け5教室の定員充足率	100%	90.0%	市民体育センター	定員充足率(年間2回)	5教室中、親子キラにこフィットネス教室は100%、チビッコ体操教室(年中)は93%だった。チビッコ体操教室は、幼稚園・保育園等の保育時間や参加していただきやすい時間帯を考え、それぞれ2コースを設定しているが、平成29年度においては5歳児対象教室の充足率が78%と少し悪い結果となった。
1	地域における子育て支援の充実	53	病児・病後児保育の実施箇所数	1か所	1か所	幼児課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載

大項目		指標	目標	実績 (達成)	施策担当課	備考	平成29年度実績に対する担当課意見	
1	地域における子育て支援の充実	54	子育て短期支援事業（ショートステイ）受入件数	31件	2件	子育て支援課		滋賀県子どもと家族を守る家との委託契約を行ったことから、ニーズとのマッチングを行い支援の実施につなげる。
1	地域における子育て支援の充実	55	子育て短期支援事業（ショートステイ）受入施設数	3か所	7か所	子育て支援課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
1	地域における子育て支援の充実	56	読み聞かせボランティア数	30人	21人	図書館		読み聞かせボランティアの活動の場を確保するとともに、募集について検討する
1	地域における子育て支援の充実	57	図書館利用者新規登録者数（6歳以下）	30人	21人	図書館		読み聞かせボランティアの活動の場を確保するとともに、募集について検討する
1	地域における子育て支援の充実	58	ファミリー・サポート・センター提供会員数	190人	181人	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
1	地域における子育て支援の充実	59	虐待予防啓発件数	8回	5回	障害福祉課		市民向け啓発を効果的に実施することが必要
1	地域における子育て支援の充実	60	利用者支援事業実施箇所数	1か所	1か所	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
1	地域における子育て支援の充実	61	子育てサポーター登録者数	100人	52人	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	62	家庭相談件数	768件	737件	子育て支援課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	63	保育所待機児童の解消（待機児童数）	0人	20人	幼児課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	64	公立幼稚園からの認定こども園への移行園数	5園	1園	幼児課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	65	時間外保育事業実施保育所数（認定こども園含む。）	30園	30園	幼児課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	66	公立幼稚園水曜日の預かり広場実施	10園	9園	幼児課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	67	保育所における一時預かり事業の実施（認定こども園含む。）	25園	20園	幼児課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	68	児童の基礎・基本的な学習内容の習得状況	80%	76.0%	学校教育課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	69	生徒の基礎・基本的な学習内容の習得状況	80%	70.0%	学校教育課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	70	外国人児童生徒支援率	100%	92%	学校教育課	支援実施児童生徒数/対象児童生徒数	支援を必要とする学校に対して重点的支援を行っていく。
2	保育・教育の充実	71	新体力テスト総合評価（小6）	3.33点	3.34点	保健体育課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	72	新体力テスト総合評価（中3）	3.64点	3.64点	保健体育課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	保育・教育の充実	73	学校評価（A・B評価）達成学校の割合	100%	87.5%	人権教育課	「人権尊重と実践の態度の育成」の自己評価	前年度よりも改善されているが、目標達成に向けたさらなる取り組みが、求められる。
2	保育・教育の充実	74	地域学校協働本部ボランティア出務日数	7,000日	4443日	生涯学習課	地域学校協働本部事業（8本部）におけるボランティア出務日数	日数としては目標値の63%ではあるが、各校で多くの地域ボランティアによる充実した活動が行われている。ただ同じ人が繰り返しボランティアをしてくださる傾向にあり、新たな人材を発掘する必要がある。
2	保育・教育の充実	75	ひこねロボットクラブ登録者数	60人	11人	生涯学習課	利用登録者数	ロボットクラブの間口を広げ、利用者が増加する仕組みを検討していく必要がある。
2	保育・教育の充実	76	学校管理マニュアルの作成	100%	100%	保健体育課	作成校/市内小中学校	地震・風水害・原子力災害マニュアルの他に、今後、土砂災害におけるマニュアルが必要となる。
2	保育・教育の充実	77	避難訓練の実施	100%	100%	保健体育課	実施校/市内小中学校	より迅速に対応できるように訓練を実施していく必要がある。
2	保育・教育の充実	78	不審者対応訓練	100%	100%	保健体育課	実施校/市内小中学校	いかなる場合でも対応できるような訓練を実施していく必要がある。
2	保育・教育の充実	79	効果的児童生徒支援率	100%	100%	学校教育課	実施校/指導員派遣校	支援を必要とする学校に対して重点的支援を行っていく。
2	保育・教育の充実	80	放課後児童クラブ受入児童数	1,372人	1,355人	生涯学習課	子ども・若者プラン指標	入会を希望する児童を全員受け入れることができた。
2	保育・教育の充実	81	生活習慣指導実施校	100%	100%	保健体育課	実施校/市内小中学校	自らの生活に課題に気づき、改善していこうとする力を育てていく。
2	保育・教育の充実	82	性に関する指導計画作成校	100%	100%	保健体育課	実施校/市内小中学校	自他の命の大切さを理解し、発達段階に合わせ継続的な指導を行う。
2	保育・教育の充実	83	薬物乱用防止教育の実施校	100%	63%	保健体育課	実施校/市内小中学校	正しい知識を身につけ、自分の行動選択や意思決定していく力を育てていく。開催状況は中学校では100%、小学校では47%。今後、小学校での指導内容を工夫し実施していく。
3	自立に向けた支援	84	新成人のつどい実行委員会実行委員数	30人	9人	生涯学習課	実行委員会に参画する新成人の実行委員数	目標には達していないが、例年同様の効果を得られている。
3	自立に向けた支援	85	青年リーダー養成事業参加者数	20人	54人	生涯学習課	青年リーダー養成事業参加延人数	270%達成できている。参加している学生の所属大学の数も増加している。
3	自立に向けた支援	86	発達障害相談件数（実人数）	280件	321件	発達支援室	年間相談実人数	前年度比1.26（就学前・小学生・成人は増加 中学生・高校生は微増）

大項目		指標	目標	実績 (100)	施策担当課	備考	平成29年度実績に対するの担当課意見
3	自立に向けた支援	87 (仮称) 彦根市子ども・若者支援センターの設置	1か所	2か所	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
3	自立に向けた支援	88 (仮称) 彦根市子ども・若者支援ネットワークの整備	整備	整備	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
3	自立に向けた支援	89 相談件数 (実人数)	210人	291人	障害福祉課	月平均	障害者数の増加から、相談支援の更なる充実が課題
3	自立に向けた支援	90 センター支援の新規就労者数 (彦根市)	50人	43人	障害福祉課	センターを介した本市の新規就労者数	ケース対応が複雑化しており、専門的な相談技術が求められる。
3	自立に向けた支援	91 姉妹都市・友好都市交流派遣事業参加市民数 (累計)	281人	299人	人権政策課	参加者数の累計	
3	自立に向けた支援	92 国際理解講座開催回数	20回	17回	人権政策課	年間の開催回数	湖東定住自立圏の4町からの利用が少ないため、情報提供に努める。
視点3 みんなが共に育つための子ども・若者への支援							
1	児童虐待・配偶者への暴力などの防止	93 家庭相談件数	768件	737件	子育て支援課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
1	児童虐待・配偶者への暴力などの防止	94 人権のまちづくりフェスタ参加者数	1,500人	1,500人	人権政策課	来場者数	市民周知の効果により、多くの参加者があった。
1	児童虐待・配偶者への暴力などの防止	95 女性等への暴力防止に向けた啓発、研修機会	20回	19回	人権政策課	年間開催数	新たな啓発や研修を開催するのは難しい。
2	青少年非行の防止	96 有害図書回収回数	12回	12回	子ども・若者課	白ポスト巡回回収	白ポストの啓発、有害図書の回収をコンスタントに継続実施していく。
3	ひきこもりやニートなどへの支援	97 発達障害相談件数 (実人数)	280件	321件	発達支援室	年間相談実人数	前年度比1.26 (就学前・小学生・成人は増加 中学生・高校生は微増)
3	ひきこもりやニートなどへの支援	98 相談件数 (実人数)	210人	291人	障害福祉課	月平均	障害者数の増加から、相談支援の更なる充実が課題
3	ひきこもりやニートなどへの支援	99 基礎的事業利用者数 (実人数)	20人	14人	障害福祉課	月平均	外出や仲間づくりを通じて社会参加を促していく。
3	ひきこもりやニートなどへの支援	100 センター支援の新規就労者数 (彦根市)	50人	43人	障害福祉課	センターを介した本市の新規就労者数	ケース対応が複雑化しており、専門的な相談技術が求められる。
3	ひきこもりやニートなどへの支援	101 (仮称) 彦根市子ども・若者支援センターの設置	1か所	1か所	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
3	ひきこもりやニートなどへの支援	102 (仮称) 彦根市子ども・若者支援ネットワークの整備	整備	整備	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
4	障害のある子ども・若者への支援	103 相談件数 (実人数)	210人	291人	障害福祉課	月平均	障害者数の増加から、相談支援の更なる充実が課題
4	障害のある子ども・若者への支援	104 発達障害相談件数 (実人数)	280件	321件	発達支援室	年間相談実人数	前年度比1.26 (就学前・小学生・成人は増加 中学生・高校生は微増)
4	障害のある子ども・若者への支援	105 移動支援事業利用者数	111人	128人	障害福祉課		サービス提供体制の確保に努める。
4	障害のある子ども・若者への支援	106 訪問系サービスの利用実人数 (月平均)	135人	238人	障害福祉課	各サービス毎の実利用者の合計	サービスの質量を見極め、適正なサービスを提供する。
4	障害のある子ども・若者への支援	107 センター支援の新規就労者数 (彦根市)	50人	43人	障害福祉課	センターを介した本市の新規就労者数	ケース対応が複雑化しており、専門的な相談技術が求められる。
4	障害のある子ども・若者への支援	108 日中一時支援事業利用者数	260人	228人	障害福祉課	年間実利用者数	事業所の拡充を図る。
4	障害のある子ども・若者への支援	109 発達相談実施数	224回	174回	子ども療育センター	通園児相談支援実施数+終了児発達相談実施数	前年度に比べて相談回数は若干増えた。
4	障害のある子ども・若者への支援	110 親子療育教室「つぼみ」利用開始月齢	18か月	30か月	子ども療育センター		
4	障害のある子ども・若者への支援	111 就学相談利用者数	130人	136人	学校教育課	就学指導対象者 (5歳、12歳) ×6%	年々増加する就学相談のニーズに対応していく。
4	障害のある子ども・若者への支援	112 個別の指導計画等策定数	500人	511人	学校教育課	児童計画等のある児童生徒数	引き続き個別の指導計画の策定を進めていく。
4	障害のある子ども・若者への支援	113 特別支援教育支援員配置数	27人	31人	学校教育課	各小中学校1名+支援学校対象児複数数に籍校	引き続き支援員の配置を進めていく。
4	障害のある子ども・若者への支援	114 発達障害相談件数 (実人数)	280件	321件	発達支援室	年間相談実人数	前年度比1.26 (就学前・小学生・成人は増加 中学生・高校生は微増)
4	障害のある子ども・若者への支援	115 発達障害のある子どもを対象とした継続的・計画的な支援システムの構築	構築	構築中	障害福祉課		支援システムの構築をしていく。
4	障害のある子ども・若者への支援	116 訪問系サービスの利用実人数 (月平均)	135人	238人	障害福祉課	各サービス毎の実利用者の合計	サービスの質量を見極め、適正なサービスを提供する。
4	障害のある子ども・若者への支援	117 日中一時支援事業利用者数	260人	228人	障害福祉課	年間実利用者数	事業所の拡充を図る。
5	ひとり親家庭など、家庭の状況に応じた支援	118 ひとり親家庭への就労支援件数	25件	22件	子育て支援課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
5	ひとり親家庭など、家庭の状況に応じた支援	119 外国人児童生徒支援率	100%	92%	学校教育課	支援実施児童生徒数/対象児童生徒数	支援を必要とする学校に対して重点的支援を行っていく。
5	ひとり親家庭など、家庭の状況に応じた支援	120 少人数指導の実施率	100%	83.3%	学校教育課	少人数指導実施校/市内小中学校	引き続き少人数指導を推進していく。

大項目		指標	目標	実績 (100)	施策担当課	備考	平成29年度実績に対する担当課意見
5	ひとり親家庭など、家庭の状況に応じた支援	121 放課後子ども教室実施校	5校	0校	生涯学習課	市内実施校	予算なし。帰宅時の安全確保等、課題が多いため未実施。
5	ひとり親家庭など、家庭の状況に応じた支援	122 地域での学習支援教室の整備	7か所	7か所	子ども・若者課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
<b>視点4 子ども・若者と子育て家庭にやさしいまちづくり</b>							
1	安心して出産・子育てができる環境づくり	123 妊娠11週以下での妊娠届出率	98%	93.5%	健康推進課	11週以下での届出数/全届出数	妊娠に気づくのが遅れないよう、健康への意識を高めていく。
1	安心して出産・子育てができる環境づくり	124 新生児訪問実施率	60%	71.9%	健康推進課	実施数/年間出生児数	母子健康手帳発行時に周知。訪問希望者に助産師・保健師が訪問した。
1	安心して出産・子育てができる環境づくり	125 妊婦健康診査 受診回数	15,400回	11,249回	健康推進課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
1	安心して出産・子育てができる環境づくり	126 特定不妊治療費の助成件数	100件	90件	健康推進課		広報、ホームページ等で周知。
1	安心して出産・子育てができる環境づくり	127 人工授精治療費助成件数	50件	44件	健康推進課		広報、ホームページ等で周知。
1	安心して出産・子育てができる環境づくり	128 就学援助制度の周知	100%	100%	学校教育課	周知回数/目標周知回数	引き続きホームページや文書で周知を図っていく。
1	安心して出産・子育てができる環境づくり	129 一般事業主行動計画策定事業所数	100事業所	94事業所	地域経済振興課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
1	安心して出産・子育てができる環境づくり	130 事業者表彰累計件数	33件	34件	人権政策課		応募者が少ない。事業者表彰のメリットをPRする必要がある。
2	乳幼児の発達と保護者への支援	131 乳幼児健康診査受診率	増加	維持	健康推進課	健診受診者数/対象者数	前年比 4か月健診 +0.8%、10か月健診 +0.3%、1歳6か月健診 +0.3%、2歳6か月健診 -2%、3歳6か月健診 +3.7%で、2歳6か月健診のみ減少した。
2	乳幼児の発達と保護者への支援	132 2歳までに麻疹予防接種終了率	97%	101.6%	健康推進課		転出入の影響で、当初に定めた対象者より接種者が多かったために100%を超えた。昨年度同様、乳幼児健診や通知等で対象者への個別勧奨を実施。広報等で啓発を実施。
2	乳幼児の発達と保護者への支援	133 養育支援訪問件数	1,410件	1,641件	子育て支援課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	乳幼児の発達と保護者への支援	134 新生児訪問実施率	60%	71.9%	健康推進課	新生児訪問実施数/年間出生児数	母子健康手帳発行時に周知。訪問希望者に助産師・保健師が訪問した。
2	乳幼児の発達と保護者への支援	135 乳児家庭全戸訪問率	100%	91.3%	健康推進課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	乳幼児の発達と保護者への支援	136 出産後1か月時の母乳育児の割合	50%	40.0%	健康推進課	4か月健診時の問診結果	両(母)親学級等での啓発、新生児訪問での指導等の実施。
2	乳幼児の発達と保護者への支援	137 夜9時までに寝ている3歳児の割合	59%	53.7%	健康推進課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
2	乳幼児の発達と保護者への支援	138 むし歯のない3歳児の割合	90%	85.6%	健康推進課	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
3	安全・安心なまちづくり	139 休日急病診療所利用者数	100%	121%	健康推進課	利用者数/過去3年間平均受診者数	一次救急診療所として市民に定着してきている。
3	安全・安心なまちづくり	140 小児救急医療体制の確保	194単位	194単位	健康推進課	昼1単位・夜1単位	小児科医の確保が困難。
3	安全・安心なまちづくり	141 小学校区単位で結成される自主防犯活動団体結成数	17団体	13団体	まちづくり推進室	子ども・若者プラン指標	計画目標値シートで記載
3	安全・安心なまちづくり	142 地域安全活動推進事業実施自治会数	290件	269件	まちづくり推進室	まちづくり推進事業総合補助金申請自治会数	補助により自主的な地域安全活動が促進された。
3	安全・安心なまちづくり	143 スクールガード登録者数	1,300人	1,173人	保健体育課	実施校/市内小中学校	減少傾向のため、学校より地域の各種団体へ加入を呼びかける。
3	安全・安心なまちづくり	144 広報車による巡回パトロール	130回	146回	保健体育課	年間巡回実施回数	子ども達のより安全・安心な登下校となるよう呼びかける。
3	安全・安心なまちづくり	145 不審者情報の共有	100%	100%	保健体育課	届けられた情報の警察との共有割合	不審者情報を迅速に発信し、関係機関との連携を強化する。
3	安全・安心なまちづくり	146 子ども110番の家の設置数	1,950か所	2,023か所	子ども・若者課		目標達成。今後とも設置数が増えるよう地域に協力を求めていく。
3	安全・安心なまちづくり	147 交通安全教室の実施回数	17回	22回	交通対策課	市内全小学校	目標を達成した。
3	安全・安心なまちづくり	148 ノンステップバスの導入	2台	1台	交通対策課		目標未達成。H31年4月路線廃止に伴い、車両運用を効果的に行う。
3	安全・安心なまちづくり	149 路線バスの利用者増加人数	30,000人	35,115人	交通対策課		目標を達成した。
3	安全・安心なまちづくり	150 赤ちゃんの駅登録施設数	30か所	31か所	子ども・若者課		今後とも新規開拓を図っていく。